

議会の動き

▲8月▼

1日 第4回臨時会

2日 議会運営委員会行政視察研修会(3日)

17日 議会運営委員会全議員協議会

29日 第5回定例会

湖南広域行政事務組合例月出納検査・決算審査

▲9月▼

2日 本会議(議案質疑・委員会付託・一部討論・採決)

5日 文教厚生常任委員会(6日)

7日 総務常任委員会

8日 産業土木常任委員会

13日 本会議(一般質問)

14日 本会議(一般質問)

15日 本会議(一般質問)

16日 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)

21日 広報編集特別委員会

27日 湖南広域行政組合例月出納検査

30日 広報編集特別委員会

▲10月▼

11日 広報編集特別委員会

総務常任委員会研修報告

7月19日～20日

まちづくり基本条例

(石川県羽咋市)

市民が主役のまちづくりを目指し、条例の策定過程において、市民意向調査やまちづくり市民会議(公募委員)による検討、パブリックコメントの実施など多様な市民参加の手法が取り入れられていた。

公共施設の有効利用

(石川県金沢市民芸術村)

大垣市と瑞浪市を研修のため訪れた。大垣市赤坂幼保園は、保育園と幼稚園の施設の共用化、幼保園児としての幼時期教育を保障した幼保一元化保育に取り組んでいた。

文教厚生常任委員会研修報告

7月21日～22日

送車も生徒たちのイラスト入りで楽しい給食のイメージを感じた。

瑞浪市学校給食センターは、5000食を作れる規模の施設で、食器は地場産業である陶磁器を使用し、デザインは、児童・生徒の作品から決定し、イラスト入りの食器で給食を提供されている。



議会運営委員会研修報告

8月2日～3日

静岡県伊豆の国市と同

県沼津市で、一般質問(質問方式、発言時間、通告制等)、予算・決算の審査方法などについて研修を行なった。

伊豆の国市は、本年4月1日、旧伊豆長岡町、旧葦山町、旧大仁町が新設合併し、新市が誕生した。旧3町で、議会運営の細部について違いがあり、調整に苦労された。

会派制については、今後導入の必要性を言われていた。

沼津市は、

本年4月1日、戸田村を編入合併し、新沼津市が誕生した。編入合併のため、議会運営については、沼津市議会方式で行われていることや、会派制が定着していることなどから問題は生じていない。

産業土木常任委員会研修報告

7月26日～27日

福岡県大野城市では、

西鉄天神大牟田線高架化計画(連続立体交差事業)の実現による沿線まちづくり計画の説明を受け、市による土地の先行買収が功を奏し、民意が反映された駅前開発を実施中であった。

甘木市では、甘木朝倉広域地域(1市3町1村)において、『まちの駅』を「人と人の出会いと交流をサポートする情報受

発信拠点」として定義付け、現在約60店舗の駅が登録され、来訪者の滞在時間の延長やリピーターの増加もあり、経済効果を生み出していた。

また、登録店同士の繋がりが、地域のネットワークを向上させ、地域の人が元気になったと高い評価を得ていた。

【用語解説】

※プライマリーバランス

財政の健全性を測る指標で、国債発行などの借り入れを除く「歳入」から、過去に発行した国債など借金の元利払い費を除いた「歳出」を差し引いた財政収支。

編集後記

新市が誕生し一年が経過し、この間、4回の市議会だよりを発行しました。条例、予算、決算、各委員会審議結果、一般質問等、議員活動を通じ市民の声を市政に反映し、市の進むべき道筋と課題を審議し、その結果を出来るだけ読みやすく、市民に親しまれる身近な紙面づくりに努めてきました。

地方分権型社会、少子高齢化時代に向けてのまちづくりに行政、市民のパートナーシップをどう構築するのか。新議員の手腕と英知に期待します。この一年、議会広報活動へのご支援に感謝申し上げます。

広報委員会一同